

高耐久性屋根用塗料

水性

弱溶剤形

# ヤネフレッシュシリーズ

※  
コロニアル・カラーベストなどの薄型塗装瓦やトタン屋根の塗り替えに最適です

※弱溶剤形のみ適用可能

防かび・防藻



水性アクリルシリコン樹脂系

水性ヤネフレッシュシリコン

水性ふっ素樹脂系

水性ヤネフレッシュフツソ

弱溶剤形ポリウレタン樹脂系

ヤネフレッシュ

弱溶剤形アクリルシリコン樹脂系

ヤネフレッシュSi

弱溶剤形ふっ素樹脂系

ヤネフレッシュF

高耐久性屋根用塗料

# ヤネフレッシュシリーズ

水性アクリルシリコン樹脂系

水性ヤネフレッシュシリコン

水性ふっ素樹脂系

水性ヤネフレッシュフツ

弱溶剤形ポリウレタン樹脂系

ヤネフレッシュ

弱溶剤形アクリルシリコン樹脂系

ヤネフレッシュSi

弱溶剤形ふっ素樹脂系

ヤネフレッシュF

ヤネフレッシュシリーズは、コロニアルやカラーベストなどの薄型塗装瓦や、トタン屋根（対象は弱溶剤形）の塗り替え用として開発された、耐久性の高い屋根用塗料です。優れた耐候性・付着性を示し、長期間安定した性能を発揮します。

このヤネフレッシュシリーズには、水性タイプと弱溶剤タイプがある他、主要構成成分としてふっ素樹脂系、アクリルシリコン樹脂系、ポリウレタン樹脂系があり、施工環境や要求される耐久性によって使い分けることができます。

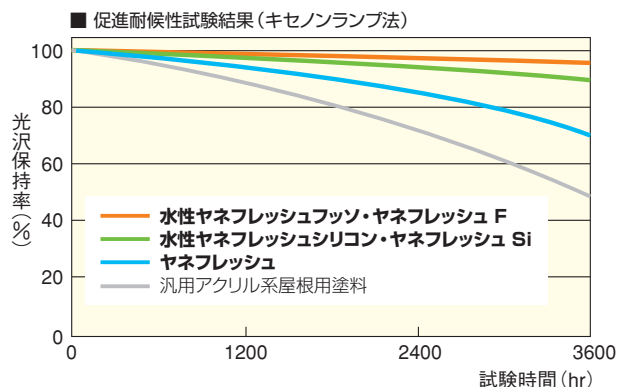
## 特長

### 優れた隠ぺい性

隠ぺい力が高いため、下地の透けがありません。

### 超耐久性

ウレタン結合（ヤネフレッシュ）、シロキサン結合（水性ヤネフレッシュシリコン・ヤネフレッシュSi）、ふっ素結合（水性ヤネフレッシュフツ・ヤネフレッシュF）の強靱な塗膜は、酸性雨や熱・紫外線に対して優れた抵抗性を示します。

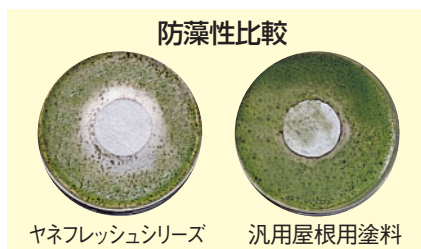
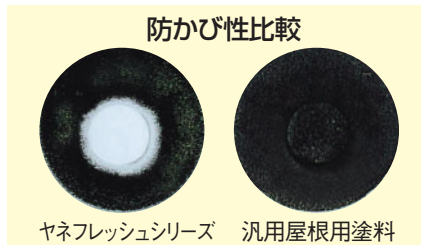


### 安全性

水性のため引火性がなく、安全であり、作業性の向上に役立ちます。

### 防かび・防藻性

特殊設計により、優れた防かび・防藻性を発揮します。



### 優れた密着性

旧塗膜に対して優れた浸透性を示し、優れた密着性を発揮します。

### 良好な作業性

刷毛、ローラー、エアレスなど、いずれの塗装機器でも施工が可能です。

# 屋根を護る

# 高耐久性塗膜が

## 弱溶剤形

### ■ ヤネフレッシュ・ヤネフレッシュSi・ヤネフレッシュF 標準施工仕様

■ 共通① (コロナル・カラーベスト・スレート屋根) (20℃、65%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下 地 調 整	●高圧水洗(10~15MPa)で、ごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。 ●高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわし等で表面に付着したごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。							—
1. 乾 燥	水洗後は、十分に乾燥を行ってください。(冬期3日以上、夏期2日以上)							—
2. 下 塗 り	マイルドシーラー-EPO 主 剤	100	0.15~0.25	1~2	3以上	3以上	7日以内	—
	マイルドシーラー-EPO 硬化剤	33.3						

■ 共通② (トタン屋根) (20℃、65%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下 地 調 整	●ディスクサンダー、ワイヤーブラシなどで、さびを完全に除去してください。 ●高圧水洗で浮き・劣化塗膜などを完全に除去した後、乾燥させてください。 ●ゴミ・油・汚れなどを完全に除去し、清浄な面としてください。							—
下 塗 り	SKマイルドボーセイ主 剤	100	0.14~0.17	1	—	6以上	14日以内	—
	SKマイルドボーセイ硬化剤	25						
	塗 料 用 シ ン ナ ー A	0~10	—					

注1 塗り替えては、必ず高圧水洗(5~10MPa)またはブラシによる水洗いを行ってください。これが不十分な場合、光沢のある仕上がりが見られなかったり、経年後、塗膜の膨れ・はがれなどの原因になることがあります。また、金属露出部がある場合は発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取ってください。水洗時は滑りやすくなるため、安全には十分ご注意ください。

注2 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合(全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが0.5N/mmi以下、またはガムテープによるクロスカットテープ試験で剥離が見られる場合など)や、腐食が進行している場合(赤さびが発生している場合)、過酷な環境条件下及び耐久性を必要とする場合は、脆弱塗膜を全て除去した後、★ミラクボーセイM(18kgセット)をご使用ください。

注3 作業環境や形状によってさびを完全に除去できない部位には、下塗り材を塗装する前に、あらかじめ★サビフィックス(18kgセット、4.5kgセット)で補修塗りを行ってください。

■ ヤネフレッシュ (20℃、65%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
3. 上 塗 り	ヤネフレッシュ主 剤	100	0.28~0.32	2	3以上	7日以内	—	24以上
	ヤネフレッシュ硬化剤	14.3						
	塗 料 用 シ ン ナ ー A	0~20	—					
4. 緑 切 り	上下の瓦が材料で接着する箇所は縁切りを行ってください。							—

■ ヤネフレッシュ Si (20℃、65%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
3. 上 塗 り	ヤネフレッシュ Si 主 剤	100	0.28~0.32	2	3以上	7日以内	—	24以上
	ヤネフレッシュ Si 硬化剤	14.3						
	塗 料 用 シ ン ナ ー A	0~20	—					
4. 緑 切 り	上下の瓦が材料で接着する箇所は縁切りを行ってください。							—

■ ヤネフレッシュ F (20℃、65%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
3. 上 塗 り	ヤネフレッシュ F 主 剤	100	0.28~0.32	2	3以上	7日以内	—	24以上
	ヤネフレッシュ F 硬化剤	14.3						
	塗 料 用 シ ン ナ ー A	0~20	—					
4. 緑 切 り	上下の瓦が材料で接着する箇所は縁切りを行ってください。							—

\*1 必ず高圧水洗(10~15MPa)またはデッキブラシ、たわしによる水洗いにより、ごみや汚れ、こけ、死膜の除去を行ってください。特に瓦の重なり部分、入念にワイヤーブラシを用いて除去してください。これらが不十分であれば均一な仕上がりが見られなかったり、経年後、塗膜の膨れ、剥がれなどの原因となる場合があります。また脆弱な旧塗膜は完全に除去してください。

\*2 水洗時は滑りやすくなるため、安全には十分ご注意ください。

\*3 水洗後や、降雨、降雪後の乾燥を十分に行ってください(冬期3日以上、夏期2日以上)。乾燥が不十分な場合、密着性が低下し、塗膜の膨れ、剥がれなどの原因となる場合があります。

\*4 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合(全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが0.5N/mmi以下、またはガムテープによるクロスカットテープ試験で剥離が見られる場合など)は、脆弱塗膜を全て除去した後、下塗り材に★ミラクシーラー-EPO(15kgセット、6kgセット)をご使用ください。

\*5 可使時間は5時間(20℃)です。可使時間を越えた材料は下地への浸透性や下地強化能力を含めた物性低下の原因となるため、使用しないでください。

\*6 下塗り材、上塗り材の所要量は、下地の劣化の状況や形状により増減する場合があります。

\*7 この他、一液マイルドシーラー-ES(14kg石油缶)も使用できます。

\*8 材料の希釈には必ず塗料用シンナーAを使用し、他の材料の使用は避けてください。

\*9 SKマイルドボーセイの塗料用シンナーAでの希釈率は、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」、スプレー塗り時で「5~10」となります。

\*10 ヤネフレッシュ/Si/Fの塗料用シンナーAでの希釈率はスプレー塗り時で「10~20」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。また、希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。

\*11 瓦の上下に隙間がなければ、結露水の通気率が不十分となり、素材の腐食・漏水の原因になる場合があります。

# 水性

## ■ 水性ヤネフレッシュシリコン・水性ヤネフレッシュフツ 標準施工仕様

### コロナル・カラーベスト・スレート屋根

#### ■ 共通

(20℃、65%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
※1,2 下 地 調 整	●高圧水洗(10~15MPa)で、ごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。 ●高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわし等で表面に付着したごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。							—
※3 1. 乾 燥	水洗後は、十分に乾燥を行ってください。(冬期3日以上、夏期2日以上)							—
※4,7 2. 下 塗 り	水性ヤネフレッシュシーラー	既調合	0.10~0.15	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量: 600~1000ml/分 パターン幅: 25~30cm
※5,6,7,8 2' 下 塗 り	マイルドシーラー EPO 主 剤	100	0.15~0.25	1~2	3以上	3 以 上 7日以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量: 600~1000ml/分 パターン幅: 25~30cm
	マイルドシーラー EPO 硬化剤	33.3						

#### ■ 水性ヤネフレッシュシリコン

(20℃、65%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
※7,9 3. 上 塗 り	水性ヤネフレッシュシリコン	100	0.28~0.32	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量: 600~1000ml/分 パターン幅: 25~30cm
	清 水	5~15	—					
※12 4. 縁 切 り	上下の瓦が材料で接着する箇所は縁切りを行ってください。							—

#### ■ 水性ヤネフレッシュフツ

(20℃、65%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
※7,9 3. 上 塗 り	水性ヤネフレッシュフツ	100	0.28~0.32	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量: 600~1000ml/分 パターン幅: 25~30cm
	清 水	5~15	—					
※12 4. 縁 切 り	上下の瓦が材料で接着する箇所は縁切りを行ってください。							—

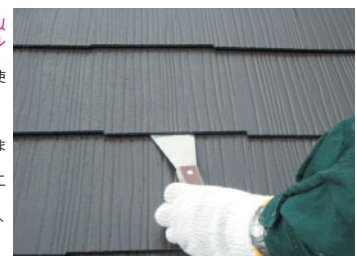
### アスファルトシングル

#### ■ 水性シングルサーフ+水性ヤネフレッシュシリコン艶消し

(20℃、65%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
※1,2 下 地 調 整	●高圧水洗(5~10MPa)またはデッキブラシ、たわしによる水洗いにより、ごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。 ●高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわし等で表面に付着したごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。 ●シングル部材の反った部分は接着剤で接着を行ってください。							—
※3 1. 乾 燥	水洗後は、十分に乾燥を行ってください(冬期3日以上、夏期2日以上)。							—
※7,10 2. 下 塗 り	水 性 シ ン グ ル サ ー フ	100	0.50~0.90	1	—	4以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量: 600~1000ml/分 パターン幅: 25~30cm
	清 水	3~15	—					
※7,11 3. 上 塗 り	水性ヤネフレッシュシリコン艶消し	100	0.28~0.32	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量: 600~1000ml/分 パターン幅: 25~30cm
	清 水	5~15	—					
※12 4. 縁 切 り	上下のシングル部材が接着する箇所は縁切りを行ってください。							—

- ※1 必ず高圧水洗(10~15MPa)またはデッキブラシ、たわしによる水洗いにより、ごみや汚れ、こけ、死膜の除去を行ってください。特に瓦の重なり部分は、急にワイヤーブラシを用いてこれらを除去してください。これらが不十分であれば均一な仕上がりを得られなかったり、経年後、塗膜の剥れ、剥がれなどの原因となることがあります。また、脆弱な旧塗膜は完全に除去してください。
- ※2 水洗時は滑り易くなるため、安全には十分ご注意ください。
- ※3 水洗後や、降雨、降雪後の乾燥を十分に行ってください(冬期3日以上、夏期2日以上)。乾燥が不十分な場合、密着性が低下し、塗膜の剥れ、剥がれなどの原因となることがあります。
- ※4 水性ヤネフレッシュシーラーに使用したローラー、刷毛、エアレスなどは、塗装後に必ず水洗いしてください。水洗いせずに他の水性塗料の施工に使用しないようにしてください。
- ※5 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合(全面に塗膜の剥れが見られる場合や水洗後の付着強さが0.5N/mm以下、またはガムテープによるクロスカットテープ試験で剥離が見られる場合など)は、脆弱塗膜を全て除去した後、下塗材に★マイルドシーラー-EPOまたは★ミラフシーラー-EPO(15kgセット、6kgセット)をご使用ください。
- ※6 可使用時間は5時間(20℃)です。可使用時間を越えた材料は下地への浸透性や下地強化能力を含めた物性低下の原因となるため、使用しないでください。
- ※7 下塗材、上塗材の所要量は、下地の劣化の状況や形状により増減する場合があります。
- ※8 この他、一液マイルドシーラー-ES(14kg石油缶)も使用できます。
- ※9 水性ヤネフレッシュシリコン/フツの清水での希釈率はスプレー塗布時で「10~15」、刷毛・ローラー塗布時で「5~10」となります。また、希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- ※10 水性シングルサーフの清水での希釈率はスプレー塗布時で「5~15」、刷毛・ローラー塗布時で「3~5」となります。また、希釈率は、施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- ※11 水性ヤネフレッシュシリコン/艶消しの清水での希釈率はスプレー塗布時で「10~15」、刷毛・ローラー塗布時で「5~10」となります。また、希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- ※12 瓦の上下に隙間がないと、結露水の通気が不十分となり、素材の腐食・漏水の原因になる場合があります。



参考写真:縁切り

# 高耐久性屋根用塗料

# ヤネフレッシュ シリーズ

## ■ 性能試験成績表

試験項目	結果			試験方法
	ヤネフレッシュ	ヤネフレッシュSi	ヤネフレッシュF	
容器の中での状態	合格	合格	合格	JIS K 5600-1-1の4.1 容器の中の状態に準拠
乾燥時間	標準状態	8時間以内	8時間以内	JIS K 5600-3-2 表面乾燥性に準拠
	5℃	16時間以内	16時間以内	
塗膜の外観	合格	合格	合格	JIS K 5600-1-1の4.4 塗膜の外観に準拠
鏡面光沢度 (60°)	86	86	86	JIS K 5600-4-7 鏡面光沢度に準拠
耐衝撃性 (落球式)	合格	合格	合格	JIS K 5600-5-3の3.2 落球式に準拠、300gのおもりを高さ500mmから落下させる。
付着性 (クロスカット法)	分類1以下	分類1以下	分類1以下	JIS K 5600-5-6 付着性 (クロスカット法) に準拠
重ね塗り適合性	合格	合格	合格	JIS K 5600-3-4 製品と被塗装面との適合性に準拠
耐酸性	合格	合格	合格	5%硫酸に7日間浸漬
耐アルカリ性	合格	合格	合格	5%水酸化ナトリウムに7日間浸漬
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	合格	合格	JIS K 5600-7-4 耐湿潤冷熱繰返し性に準拠 23℃水中18時間、-20℃3時間、50℃3時間を1サイクルとして10サイクル繰返す。

## ■ 性能試験成績表

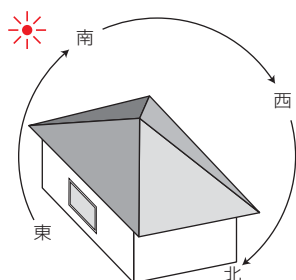
試験項目	結果		試験方法
	水性ヤネフレッシュシリコン	水性ヤネフレッシュフツ	
容器の中での状態	合格	合格	JIS K 5600-1-1の4.1 容器の中の状態に準拠
低温安定性 (-5℃)	合格	合格	JIS K 5600-2-7の4 低温安定性に準拠
乾燥時間	標準状態	2時間以内	JIS K 5600-3-2 表面乾燥性に準拠
	5℃	4時間以内	
塗膜の外観	合格	合格	JIS K 5600-1-1の4.4 塗膜の外観に準拠
鏡面光沢度 (60°)	83	82	JIS K 5600-4-7 鏡面光沢度に準拠
付着性 (クロスカット法)	分類1以下	分類1以下	JIS K 5600-5-6 付着性 (クロスカット法) に準拠
重ね塗り適合性	合格	合格	JIS K 5600-3-4 製品と被塗装面との適合性に準拠
耐水性	合格	合格	水に7日間浸漬
耐アルカリ性	合格	合格	5%水酸化ナトリウムに7日間浸漬
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	合格	JIS K 5600-7-4 耐湿潤冷熱繰返し性に準拠 23℃水中18時間、-20℃3時間、50℃3時間を1サイクルとして10サイクル繰返す。

## ■ 用途

- 薄型塗装瓦 / カラーベスト、コロニアルなど
- トタン屋根 (対象は弱溶剤形 P2参照)
- アスファルトシングル (対象は水性ヤネフレッシュシリコン艶消し P3参照)
- 特に劣化の著しい各屋根材の塗り替え※  
※モニエル瓦等については別途資料「SKK屋根塗り替えシステム」を参照してください。

## ■ 塗装順序

東面→南面→西面→北面の順に塗装してください。  
吸い込みの著しい箇所は所要量を多くしてください。



## 危険情報と安全対策

- 製品の取り扱い、それぞれの製品安全データシート (MSDS) に従ってください。  
特に、★印のついている製品は、溶剤形の製品であるため下記の点にご注意ください。
1. 引火性の液体であるため、火気厳禁です。
  2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
  3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように充分注意してください。

## ■ 荷姿

**水性ヤネフレッシュシリコン** (艶有り、艶消し) ※4 kg缶は艶有りのみ  
15kg石油缶 (標準塗坪: 47~53m<sup>2</sup>/缶)  
4 kg缶 (標準塗坪: 13~14m<sup>2</sup>/缶)

**水性ヤネフレッシュフツ** (艶有り)  
15kg石油缶 (標準塗坪: 47~53m<sup>2</sup>/缶)  
4 kg缶 (標準塗坪: 13~14m<sup>2</sup>/缶)

**水性ヤネフレッシュシーラー**  
15kg石油缶 (標準塗坪: 100~150m<sup>2</sup>/缶)

★ **ヤネフレッシュ** (艶有り、3分艶、艶消し)  
16kgセット (主剤14.0kg、硬化剤2.0kg) (標準塗坪: 50~57m<sup>2</sup>/セット)  
4 kgセット (主剤3.5kg、硬化剤0.5kg) (標準塗坪: 13~14m<sup>2</sup>/セット)

★ **ヤネフレッシュSi** (艶有り、3分艶、艶消し)  
16kgセット (主剤14.0kg、硬化剤2.0kg) (標準塗坪: 50~57m<sup>2</sup>/セット)  
4 kgセット (主剤3.5kg、硬化剤0.5kg) (標準塗坪: 13~14m<sup>2</sup>/セット)

★ **ヤネフレッシュF** (艶有り、3分艶、艶消し)  
16kgセット (主剤14.0kg、硬化剤2.0kg) (標準塗坪: 50~57m<sup>2</sup>/セット)  
4 kgセット (主剤3.5kg、硬化剤0.5kg) (標準塗坪: 13~14m<sup>2</sup>/セット)

★ **マイルドシーラー-EPO**  
14kgセット (主剤10.5kg、硬化剤3.5kg) (標準塗坪: 56~93m<sup>2</sup>/セット)

★ **SKマイルドボーセイ**  
16kgセット (主剤12.8kg、硬化剤3.2kg) (標準塗坪: 94~114m<sup>2</sup>/セット)  
4 kgセット (主剤3.2kg、硬化剤0.8kg) (標準塗坪: 23~28m<sup>2</sup>/セット)

**水性シングルサーフ**  
15kg石油缶 (標準塗坪: 17~30m<sup>2</sup>/缶)

注) 上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

## ■ 施工上の注意事項

- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。
- 気象条件により被塗装面に結露が発生した場合には、塗膜の密着不良を生じますので、施工を避けてください。（原則として午前9時～午後3時が推奨施工時間です。）
- ゴミやほこり、砂、樹液などの汚染要因は、あらかじめ塗装前に水洗い等で十分に除去した後、さらに十分に乾燥させ、清浄な面にしてください。
- 改装工事において、溶剤形の下塗材を使用される際に、溶剤などの影響で、膨れやちぢみなどの塗膜異常が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- ディスクサンダーやワイヤーブラシ、サンドペーパーなどを用いて、さびを入念に除去してください。
- 瓦の重なり部分はワイヤーブラシを用いて十分に除去してください。これらが不十分であれば、均一な仕上がりが得られなかったり、経年後の塗膜異常の原因となる場合があります。
- 旧塗膜に浮きや剥離箇所があれば、その周辺を含め、入念にケレン除去してください。
- 水洗時は滑りやすくなるため、十分に注意してください。
- 瓦の上下に隙間がなければ、通気が不十分となり、結露水などの水分の影響により、素材の腐食・漏水が発生する原因となる可能性があります。
- 水洗後は、十分に乾燥させてください。乾燥が不十分な場合、密着性が低下し、塗膜の膨れや剥れなどの原因となる場合があります。
- 金属露出部がある場合には、発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取ってください。寒冷地や冬季に施工する場合は、朝露や結露の発生に注意してください。
- トタン下地が見えている所や、さびの生じている箇所は、ケレン後必ずさび止め塗料を塗装してください。
- なみがたトタンの山部分や、トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は膜厚が薄くなりがちです。先に拾い塗りすることをお奨め致します。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- 材料を希釈しすぎると、隠べい力不足やたれ、透けなどの仕上り不良、色別れ等の原因となりますので、注意してください。
- 十分な塗膜性能を確保するため、所定の塗回数、所要量を確保してください。
- 所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- 各標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守り、施工してください。
- 塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 乾燥過程で水（降雨）などの影響を受けると白化することがあります。
- 他の材料と混合すると、性能低下につながりますので、絶対に避けてください。
- 積雪の影響を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部はこすりつけるように増し塗りを行ってください。
- 施工時は、飛散防止のため、十分に養生を行ってください。
- JIS K 5629（鉛酸カルシウム錆止め）は、下塗りに使用しないでください。
- 有機溶剤を使用している材料は、施工・保管に十分配慮してください。
- 弱溶剤形製品の場合、使用した塗装機器はラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- 上塗りの希釈率は色目および施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- 塗料用シンナーAを希釈に使用する製品では、他の材料の使用は避けてください。
- 二液タイプの製品は、所定の割合で混合し、ポットライフの時間内に使い切るようにしてください。
- 艶調整品（艶有り以外の3分艶、艶消しなど）は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際のつやと若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶ムラを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りとは仕上がりや肌の違いによる若干の色相差を生じることがあります。



# エスケー化研株式会社

本 社 大阪府茨木市中穂橋3-5-25 ☎072-621-7733

東 京 支 社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 東京支店 ☎03-3204-6601 埼玉支店 ☎048-686-2391 名古屋支店 ☎052-561-7712 広島支店 ☎082-278-4951

仙台支店 ☎022-259-2431 千葉支店 ☎043-304-0411 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 福岡支店 ☎092-629-3427

旭川営業所 ☎0166-51-8094 東京営業所 ☎03-3204-6601 静岡営業所 ☎054-284-1877 大阪住宅営業所 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561

青森営業所 ☎017-762-3885 東京住宅営業所 ☎03-3204-6602 浜松営業所 ☎053-462-7021 南大阪営業所 ☎072-253-1910 福地住宅営業所 ☎092-622-5562

盛岡営業所 ☎019-654-8380 東京開発本部 ☎03-3204-6603 三河営業所 ☎0564-28-1614 神戸営業所 ☎078-671-0451 大分出張所 ☎097-523-2861

郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉住宅営業所 ☎043-304-0413 北陸営業所 ☎076-266-1041 姫路出張所 ☎0792-33-7371 長崎営業所 ☎095-897-0871

新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 名古屋営業所 ☎052-561-7712 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650

前橋営業所 ☎027-265-4100 埼玉住宅営業所 ☎048-686-2391 名古屋住宅営業所 ☎052-561-7712 広島住宅営業所 ☎082-278-4951 鹿児島営業所 ☎099-284-5321

長野営業所 ☎026-239-6210 城東営業所 ☎03-3877-7770 岐阜営業所 ☎059-273-1981 山口営業所 ☎083-924-7575 宮崎出張所 ☎0985-61-7779

松本出張所 ☎0263-40-3644 三多摩営業所 ☎042-564-5806 三重営業所 ☎059-236-5101 高松営業所 ☎087-865-5411 沖縄営業所 ☎098-862-5041

水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜住宅営業所 ☎045-820-5525 京都営業所 ☎075-646-3967 松山出張所 ☎089-968-7240

宇都宮営業所 ☎028-633-9721 厚木営業所 ☎046-294-3666 大阪営業所 ☎072-621-7722 九州営業所 ☎093-621-8505

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先してください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>

特約販売店

(120815.Y-7)